

三水会会報

北里大学海洋生命科学部
同窓会会報 第 64 号

平成24年9月発行

編集者 内藤 文隆

発行 三水会（北里大学
海洋生命科学部同窓会）

事務局 〒246-0031 神奈川県
横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1

TEL フリーダイヤル
0120-873-135

目次	P. 1
学部事務長就任挨拶	P. 2
新任理事挨拶	P. 3
役員・代議員紹介／総会報告	P. 4

総会報告	P. 5
義援金の御礼／研究奨励賞を受賞して	P. 6
球技大会／三水会義援募金	P. 7
30周年記念事業案内／お知らせ	P. 8



2012年 7 月竣工 海洋生命科学部新校舎

海洋生命科学部事務長 就任に当たってのご挨拶

FF14期 及川 善裕



はじめに

平成24年4月に海洋生命科学部事務室事務長に就任いたしました及川善裕と申します。水産

学部水産食品学科の14期生でございます。事務長への就任の挨拶といたしまして、私のこれまでの経歴を述べていただきたいと思います。あらかじめお断りさせていただきますが、学生時代に学業にはほとんど真面目に取り組んではおりません。以下の拙文を反面教師の見本として捉えて頂ければ幸いの極みでございます。

甫嶺から北里へ

出身地は三陸キャンパスのお膝元である三陸町越喜来字甫嶺でございます。今は死語になっておりますが、俗に言う「モトジ」です。幼少の頃から祖父母に「お前はここの家の跡取りだから、いづれは戻って家を守っていかなければならない」と聞かされておりました。地元の高校を卒業後は、特に将来に向けての明確な展望を持たずに、仙台のはずれにある県立短大に進みました。しかし煩惱にさいなまれ、結局1年足らずで退学

し、そのまま仙台に留まっておりました。紆余曲折の末、北里大学水産学部にとどり着いたのは甫嶺を出てから3年も経過してからでした。

北里大学に入学はしたものの、学業には専念しませんでした。相模原では主に居酒屋のホール係やプラスチック基盤洗浄作業（時給は良かったが深夜作業で生活のリズムが狂った）、三陸では農家への肥料、飼料の配達や曳家（道路拡幅等に伴う家屋の移動作業のこと）、春先は塩蔵若布の加工作業、秋口には秋刀魚の選別等のアルバイトに精を出しました。せっかくかせいだバイト代は学費や教科書・参考書代に充てることなく、大半をパチンコ店に預金してしまいました。預金は結局引き出すことができず、射幸心を煽る誘いからは足を洗うことができました。

三陸での日常

三陸では、大学に向かう途中にある「コーポ道」というアパートに友人の多くが住んでいました。講義に出席するために自宅を出たはずが、ここに寄り道した揚句、パチンコ、釣り、バイクでふらつとツーリングという状況が何度もありました。この「ふらつと」のせいで3年連続免許停止となっていました。講習会のため毎年滝沢村の運転免許センターに送り届け

てくれた友人には、一生頭が上がリません。

地元出身者で同期生より3歳年上であったことや、叔母が事務室に勤務していたことなどもあり、3年までは学業にも課外活動にも後ろ向きな学生生活を送っておりました。それでも留年せずに4年に漕ぎ着けることができたのは友人達の暖かいサポートのお陰です。

研究室で得た転機

「お前みたいなぐうたらは、川内浩司先生にしごいて頂きなさい」との事務室の叔母からの指示に従って、四年次に水産利用学研究室、いわゆる「上利用」に所属いたしました。当時は天然パーマにねじり鉢巻きが凛々しい助手の高橋明義先生、髪の毛がフサフサで男前な博士後期課程の森山俊介先生の他、多くの大学院生が在籍しており、卒論生はマンツーマンに近い状態で研究指導を受けました。

研究室での1年の間には、高橋先生からの「愛情のこもった？」鉄拳制裁や、森山先生からの「心あたたまる？」苦言を頂戴する中で、3年次までに染みついた不規則な生活習慣が徐々に消えてゆき、「学生本来の生活？」を送ることができるようになりました。

就職そして母校北里へ

4年の夏に川内先生から「地元の某企業に就職することを前提に

大学院に進むなら博士後期課程までの学費や生活費を支給してくれるので挑戦しないか」との身に余るお誘いを頂戴いたしました。しかし、自分自身、研究職に対する適正に懐疑的で、かつ、将来が限定的となってしまうと感じたため、回答期限のお盆前に募集があった、岩手県漁業協同組合連合会への就職を決めました。

岩手県漁連には4年間、盛岡市近郊の流通センター内の盛岡冷凍工場で技師補として勤務いたしました。この間に、北里大学の職員募集を知り、北里大学への転職を決断いたしました。実家から通勤できる三陸キャンパスへの配属を念頭においた行動でありました。

余談ではありますが、盛岡時代に家内と出会うことができました。数年後の結婚披露宴では川内先生から「新郎の卒論研究は魚類の生殖腺刺激ホルモンに関するものであった。よって子作りはバツチリ」との有り難いご祝辞を頂戴いたしました。

三陸そして相模原へ

北里大学の事務職員として平成5年から教養部（現一般教育部）に教務係として勤務し、平成13年からは念願の三陸キャンパス勤務（主に総務課）となり、実家からの通勤が実現いたしました。そんな状況下であの東日本大震災が発生しました。

あの日から1年と6カ月が経過しました。三水会会員の皆さんはじめ北里大学内外の多くの方々のご支援ご協力により、この3月には海洋生命科学部になって初の卒業生が巣立っていきました。7月末日には相模原キャンパス海洋生命科学部新棟(MB号館)が竣工し、9月から授業を行っております。

私は当初、家族(妻と子供二人)帯同で、自身三度目の相模原生活を送る予定でした。しかし、実家の父母との兼ね合いで、単身による勤務を決断しました。

事務長の職責は重く、身が引き締まる思いですが、諸先生方、事務室の皆さんと手に手を取り合って微力ながら学部運営に尽力させていただく所存です。三水会会員の皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

第12期新任理事挨拶

大坪 孝志 (F F 14)

1989年卒業、水産食品衛生化学(神谷教授)、剣道部に所属し上野荘でお世話になっていました。現在は水産物貿易業をこじんまりと経営しています。

学生当時、体育会役員であったこともあり、縁あって2011年夏、三陸町で大漁踊りを後輩達と一緒に踊りました。この企画を機に同期生

達との二十数年ぶりの再会、沢山の先輩達やかなり歳の離れた後輩達との出会いに驚きそして喜びました。その後も同窓の交流が深まり、三陸復興の一助にと後輩達が中心となつて頑張っているボランティア活動を応援しています。

小野塚 由紀 (F A 24)

この度、三水会理事に就任させて頂きました24期の小野塚由紀と申します。微力ではございますが、先輩各位ならびに皆様のご助言、ご協力をあおぎ、業務に邁進してゆく所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。三陸時代は学業に、バイトに、遊びに、飲み会に、全てに全力投球で楽しんでおりました。今回、三水会理事に就任させて頂き、たくさんの先輩方と知り合うことができました。大先輩ばかりでするので当初は緊張しておりましたが、暖かく迎えていただき非常に感謝しております。やはり北里大学水産学部という年代を超えた絆があるのだと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

及川 善裕 (F F 14)

三水会の新理事としても登場させて頂きただくこととなった及川と

申します。三陸在住のままでしたら、距離的な制約のため理事へのお誘いはなかったと思いますが、あの日以来、相模原に出てきてしまっているため、飛んで火にいる夏の虫状態となつてしまいました。三水会役員の方々等との飲みニケーションを重ねに重ねながら会の運営に微力を注ぎたいと思います。東日本大震災を機に、いかに多くの卒業生が三陸に熱い思いを寄せていたか、そしてその復興を望んでいるかを痛烈に認識させられました。あの地で生まれ育った私にとつて、学生時代までは陳腐な漁村としか映りませんでした。三水会の皆さんとの関わりの中で、わが故郷を見つめていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

吉田 健一 (F A 24)

この度、北里大学三水会の理事を仰せつかりました、24回生の吉田健一と申します。

私は、海洋基礎生産学研究室にて植物プランクトンの春季ブルームの発生要因について卒業研究を行ない、その後、東京水産大学大学院(現：東京海洋大学大学院)にてこれを発展させた研究を行なってきました。大学院修了後、しばらく同じ部屋で研究員をしておりましたが、縁あって現在は海

洋生命科学部の生体物質機能学研究室に所属しております。

部活は、相模では馬術部、三陸はヨット部隠れ部員でした。

長い間研究室の薄暗いところ(真つ暗な電顕室等)にこもっていたので、多少浮き世離れしている感がありますが、よろしく願い致します。

阿見彌 典子 (F M 29)

はじめまして。この度、理事を務めさせていただく事になりました。29期生(魚類生理学研究室出身)の阿見彌典子です。どうぞ宜しくお願い致します。現在、出身研究室で講師をさせていただいております。学部生の3年間はシャトル三陸、大学院の5年間は立根町から大学へ通い続け、8年間で三陸で過ごしました。友達、先生方とはもちろんですが、風邪で寝込んだ時に地元の方が、お粥を家まで届けてくださった事は、大切な思い出の1つです。そんな素敵な経験をさせてくれた、北里大学水産学部(現 海洋生命科学部)への感謝の気持ちも込めて、精一杯、理事を務めさせていただきます。どうかよろしくお願い致します。

第12期三水会役員一覧



大坪孝志 小野塚由紀 阿見彌典子 高橋会長 及川善裕 吉田健一

12期役職	卒業期	氏 名	全学同窓会役職
会 長	5FF	高橋 明義	常任理事
副会長	8FA	内藤 文隆	理 事
"	14FF	西尾 徹	代 議 員
理 事	1FA	長屋 信博	会 長
"	3FA	長谷川一敏	理 事
"	6FF	川添 一郎	
"	10FA	中野 清隆	
"	11FA	徳江 喜一	
"	12FA	越川 成二	
"	14FF	大坪 孝志	
"	14FF	及川 善裕	
"	16FA	小林 博子	
"	16FA	磯山 直彦	
"	17FA	田中 和義	理 事
"	18FA	増田 孝文	
"	24FA	吉田 健一	
"	24FA	小野塚由紀	
"	25FF	重光 康弘	
"	28FF	安孫子信吾	
"	29FM	阿見彌典子	
監 事	1FA	大野 良樹	
"	1FA	伴 圭司	
代議員	1FA	石井 雄	
"	2FA	西村 直也	代 議 員
"	2FA	田代 茂年	代 議 員
"	3FF	藤森 年三	
"	3FA	水鳥 純雄	代 議 員
"	3FF	佐藤 敏行	代 議 員
"	3FF	斎藤 勤	代 議 員
"		鈴木 潤一	代 議 員
"	4FA	石井 美華 (平井)	
"	4FF	伊藤 智尋	

"	5FF	稲沢 昌茂	代 議 員
"	5FA	上田 俊郎	代 議 員
"	5FA	奥村 誠一	
"	5FF	佐々木尊司	
"	5FA	材津 裕	
"	5FA	神取 政司	
"	6FF	河村 尚之	代 議 員
"	6FF	堀内 岳朗	代 議 員
"	7FA	柳澤 明美 (武田)	代 議 員
"	9FA	小原 初恵 (中島)	
"	9FA	朝日田 卓	
"	10FA	中村 義幸 (府録)	代 議 員
"	10FA	水石 博彦	
"	10FF	森山 俊介	
"	19FF	松下 隆宏	代 議 員
"	23FA	北吉 直子	代 議 員
"	23FA	黒岩 裕樹	
"	24FF	高坂 友和	代 議 員
"	24FA	高原 陽子 (小堺)	代 議 員
"	37FB	吉永 昌弘	

FA:水産増殖学科・FF:水産食品学科・FM:水産生物学科・FB:海洋生命科学科

「平成24年度 三水会定期総会報告」

平成24年5月19日(土)午後6時より北里大学白金キャンパス薬学部一号館1507教室において、平成24年度三水会定期総会が開催されました。

代議員総数52名に対し、出席数50名(本人出席37名、委任状提出者13名)欠席2名となりました。

冒頭、議長団の選出では、水産食品学科5期・稲沢昌茂氏を議長に選出、続いて議事録署名人には水産増殖学科1期・石井雄氏、水産食品学科3期・佐藤敏行氏を選出しました。

その後議事に入り執行部より、平成23年度事業報告及び収支決算報告が行われ、続いて監査報告が行われました。そして原案通り承認されました。

引き続き平成24年度事業計画及び予算案の説明があり、原案通り承認されました。

また今総会では3年間の任期満了での改選が行われ、提出された第12期三水会役員推薦者名簿を全会一致で承認いたしました。新執行部の任期は平成24年5月19日から平成27年度総会までとなります。

『平成23年度事業報告』

1. 会報の発行

同窓生の動向、学部の現状、および各種情報を含む会報を平成23年9月と平成24年3月の二回発行した。

2. 三水会ホームページの運営管理

3. 会員の現状の把握
全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努めた。

4. 親睦会の開催

北海道地区の会員を主な対象とした親睦会を平成24年2月25日札幌市にて開催した。

5. 同期会等の助成

同期会、講座別OB会及び地方親睦会等、卒業生の集会の費用の一部を助成した。

6. 大学・学生との懇談会の開催

大学、海洋生命科学部在学生との懇談会を開催し意見交換を行った。

7. 課外活動助成

クラブの活動経費、大学祭及び体育祭費用の一部を助成した。

8. 就職ガイダンスの開催

各分野の卒業生による就職ガイダンスを海洋生命科学部在学生を対象に、相模原キャンパスにて二回開催した。

9. 漁船海難遺児育英会寄付

漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に對し、寄付を行った。

10. 東日本大震災に係る支援活動や義援金活動の実施

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大船渡市三陸町にも甚大なる被害が発生

平成23年度収支決算書

平成24年3月31日現在

支出の部			収入の部		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
1. 事業費	3,250,000	2,951,491	1. 部会助成金	4,215,000	4,215,000
(1) 会報の発行費	2,050,000	2,069,051	2. 会報郵送料補助	608,000	608,000
(2) 三水区H Pの運営費	200,000	302,440	3. 前年度繰越金	2,406,663	2,406,663
(3) 親睦会の開催費	200,000	200,000	4. 預金利息	3,000	627
(4) 同期会等助成費	200,000	46,000	5. 雑収入	10,000	10,000
(5) 大学・学生との懇談会費	100,000	0			
(6) 課外活動助成金	200,000	200,000			
(7) 就職ガイダンスの開催費	250,000	84,000			
(8) 漁船海難遭児育英会寄付	50,000	50,000			
2. 運営・管理費	2,370,000	1,778,962			
(1) 印刷・通信費	420,000	268,539			
(2) 会議費	700,000	518,394			
(3) 総会費	250,000	183,810			
(4) 事務局費	950,000	808,219			
(5) 慶弔費	50,000	0			
3. 予備費	1,622,663				
4. 次年度繰越金		2,509,837			
合 計	7,242,663	7,240,290	合 計	7,242,663	7,240,290

したことに伴い、被災された三陸町の方々をご支援するため義援金活動を行い、三団体に対して800万円の寄付をした。

『平成24年度事業計画』

1. 会報の発行

同窓生の動向、学部の実状、および各種情報を含む会報を平成24年9月と平成25年3月の二回発行する。

2. 三水区ホームページの運営管理

会員に対し本会の情報を迅速、かつ充実した内容を提供する。

3. 会員の現状の把握

4. 親睦会の開催
全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努める。

5. 同期会等の助成
各地区の会員を対象とした親睦会を開催する。

6. 大学・学生との懇談会の開催
同期会、講座別OB会及び地方親睦会等、卒業生の集会の費用の一部を助成する。

7. 課外活動助成
大学、海洋生命科学部在学生との懇談会を開催し意見交換を行う。

クラブの活動経費、大学祭及び体育祭費用の一部を助成する。

平成24年度予算

支出の部		収入の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
1. 事業費	5,500,000	1. 部会助成金	4,530,000
(1) 会報の発行費	2,100,000	2. 会報郵送料補助	624,000
(2) 三水区H Pの運営費	200,000	3. 前年度繰越金	2,509,837
(3) 親睦会開催費	200,000	4. 預金利息	3,000
(4) 同期会等助成費	200,000	5. 雑収入	500,000
(5) 大学・学生との懇談会費	100,000	6. 講演会開催費	1,300,000
(6) 課外活動助成金	200,000		
(7) 就職ガイダンスの開催費	250,000		
(8) 漁船海難遭児育英会寄付	50,000		
(9) 三水区創設30周年・講演会費	2,200,000		
2. 運営・管理費	2,370,000		
(1) 印刷・通信費	420,000		
(2) 会議費	700,000		
(3) 総会費	250,000		
(4) 事務局費	950,000		
(5) 慶弔費	50,000		
3. 予備費	1,596,837		
合 計	9,466,837	合 計	9,466,837

8. 就職ガイダンスの開催

各分野の卒業生による就職ガイダンスを海洋生命科学部在学生を対象に行う。

9. 漁船海難遭児育英会寄付

漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遭児育英会に対し、寄付を行う。

10. 東日本大震災に係る支援活動や義援金活動の実施

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大船渡市三陸町にも甚大なる被害が発生したことに伴い、被災された三陸町の方々をご支援するため、引き続き義援金活動を行う。

11. 三水区創設30周年記念事業の開催
平成23年3月11日に発生した東日本大震災で中止になった、三水区創設30周年記念事業を平成24年度に東京で開催する。

12. 講演会の開催
北里大学同窓会と連携して、第44回北里大学同窓会講演会を三水区創設30周年事業と合わせて開催する。

12. 講演会の開催

北里大学同窓会と連携して、第44回北里大学同窓会講演会を三水区創設30周年事業と合わせて開催する。

東北大震災に関わるご支援について(御礼)

大船渡市立越喜来小学校 校長

今野 義雄

新緑の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、東北大震災では、ひとかたならぬ心温かいご支援をいただき、子どもたちはもとより、本校職員、そして保護者をはじめ地域の方々みんなが感謝の気持ちでいっぱいです。

あの日から、既に1年以上が経過しておりますが、旧越喜来小学校校舎はまだ、鉄筋とコンクリートのみの残骸となつて風雨にさらされています。

しかしながら、昨今では災害に強い街作りについて議論が進み、復興への道筋も少しずつ見えてまいりました。地域では瓦礫が校庭に集約された事により、だいぶ後片付けも進み復興への槌音も日に高くなつてきたように思います。本小学校区はおかげさまで大船渡市内はもとより岩手県沿岸地区の中でも最も早い処理状況となり今日にいたつています。そんな中、早く以前のような空青く、緑豊かで笑顔の絶えない街になつてほしいと願いながら毎日を過ごしております。

本校は今、この4月1日より甫嶺小学校と崎浜小学校と統合になり、新生越喜来小学校としてスタートしました。5月26日(土)

には、本校二大行事の一つである運動会が近年まれにみる晴天のもと行われ、大成功を収めることができました。以降についても努めて震災前の学校行事を入れ、地域の復興のシンボルとしての学校本来の機能を例年の軌道に乗せようと頑張っているところです。

この度は本校のために、たくさん義援金を頂戴いたしました心より感謝申し上げます。震災直後は、教室の確保や机などの比較的大きな備品の確保に奔走したところですが、だんだん落ち着くにつれ、具体的な教材の不足が目につき困っていた今日この頃でしたが、タイミングよく貴会からのご支援をいただいたことにより、その大方を購入することができました。心温まるご支援本当にありがとうございました。とうございました。

元の街のようになるにはあと何年かかるかわからない状態ですが、貴会からいただいたご支援やご恩をいつまでも忘れません。本来にありますがとうございました。貴大学が当地より去られてから、地域も寂しくなりました。ただ、O・B・O・Gの皆さんの温かい言葉など励みになつております。いつかまた貴大学が本市に来られますことをお祈り申し上げます。

結びに、貴会のご多幸とご健勝、そして貴会のこれまで以上のご発展を祈念いたしまして、略儀ながら御礼の挨拶といたします。

研究奨励賞を受賞して

F A 23期 河野 智哉

この度は、北里大学同窓会研究奨励賞を賜りまして、誠にありがとうございました。この場をお借りして、選考委員の先生方および同窓会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

水産学部(現海洋生命科学学部)在籍時は、水族病理学研究室に所属し、渡邊翼先生、河原栄二郎先生、厚田静男先生にお世話になりました。その後、宮崎大学農学研究科に進学し、酒井正博先生のもとで博士(農学)を取得させていただきました。その後、数年間の研究員生活を経て、現在は宮崎大学で教員をしております。

私の研究の原点は、水族病理学研究室に所属した際、薬に頼らず、魚類の疾病を改善・解決する方法はないものか?と考えたことです。格好つけた言い方をすると、自分の研究成果で養殖魚を守



りたい!と真剣に考えました。当時、水産動物用医薬品メーカーさんの仕事をお手伝いしたこともあり、この気持ちには確固たるものとな

りました。現在、学生を指導する立場になり、自分の過去を振り返る機会が多々あります。研究(全ての物事)を進める・続ける上で何が大切か、それは、やはり「原点(志)」だと考え、これを考えてもらえるよう指導しています。私はラッキーにも、北里大学水産学部で「原点」を見つけることができました。恩師の先生方には感謝してもしきれません。また、今でも交流のある同期の仲間たち、この場を借りて本当にありがとうございます。

水産学部は、海洋生命科学部と改名し、拠点も相模原に移りましたが、どこにいても原点探しはできます。また、こんな学部は珍しいと言われるほど、在学生・卒業生の絆が強く、多くの諸先輩方が在学生の現在・将来を案じています。

タイトルから大きく内容が脱線してしまいましたが、震災で被災した在学生の皆さんへのエールを込めて、書かせていただきました。

ここからは、少し研究内容について説明させていただきます。先述した通り、研究成果を養殖魚の生産性向上の一助とするためにはどうすればいいか?このためには、病気の原因である病原体を調べることが大切ですが、私は「病原体と戦う魚類の免疫応答」を調べることで、限られたスペースで飼育される魚の健康を、いかに上手にコントロールできるかを課題としております。このために生

理活性ペプチド（恒常性の維持に関わる物質）をバイオマーカーとし、その働きによって制御される免疫機構の解明を目指し、研究に励んでおります。一口に生理活性ペプチドといっても、様々な生理活性をもつ分子が多数存在します。受賞研究は、摂食制御または初期免疫応答の誘導に重要な働きをもつ生理活性ペプチドに着目し、これらの分子の相互作用を調べることで、魚類に備わる免疫機構の理解を目指したものです。その結果、摂食制御ペプチド：ニューロメジンU(NMU)は、炎症制御に関わる生理活性ペプチド(TNF- α 、IL-1 β 、IL-10)の発現を顕著に増強すること、さらに、病原体を食べて分解する能力をもつ食細胞を活性化することが明らかとなりました。以上の結果から、魚類のNMUは哺乳類と同様に摂食を制御すること、さらに免疫制御分子と相互作用し、免疫応答を制御することが明らかとなりました。今後は、本研究成果が水産養殖における疾病問題の解決や、飼料の開発などに役立つよう、さらなる研究を進めていきたいと考えております。最後になりましたが、現在まで私の研究を支えて下さった皆様に深謝いたします。（詳しい研究内容は、全学同窓会報にて紹介致します。）

球技大会報告

北里大学海洋生命科学部会
球技大会実行委員長
MB 青木 友寛

平成24年6月3日、10日の2日間に渡り、相模原キャンパスにおいて第50回北里大学球技大会が開催されました。ここにご報告させていただきます。

50回の節目を迎えた球技大会は前日までの降雨にもかかわらず、当日は天候にも恵まれ、まさにスポーツ日和というべき中で開催することができました。1日目の6月3日には、サッカー・バレーボール・ドッチボール、2日目の10日にはソフトボール・3on3が行われ、大きな混乱もなく、どの競



技も白熱した試合を行うことができ、大成功で今年の球技大会を締めくくることができました。

私は海洋生命科学部球技大会実行委員として何かお手伝いできることがないかと考え、2日目のソフトボールの審判とソフトボール出場選手として球技大会を盛り上げることに徹しました。私たちのチームは1回戦の接戦した試合に4-3の逆転勝利で勝ち、チーム全員で勝利を喜び合いました。2回戦は教員、大学院生チームに惜しくも敗れたものの、男女関係なく1つの事に向かつて全力で取り組み、仲間と純粋にスポーツを楽しむことができ、達成感も一入でした。これまで以上に仲間との結束力が生まれたと実感できました。その後、決勝戦まで審判という立場で試合を見届けました。審判という仕事は選手に隠れて目立ちませんが、審判の判断1つで試合の流れを良くも悪くも変えてしまうことから最も重要な位置にあると思います。試合の疲れと当日に降り注いだ日差しに負けることなく、最後まで自分の仕事を全うすることができました。

私は今回の球技大会を通して、仲間と1つの事に全力で取り組むことの素晴らしさ、楽しさを学びました。それだけではありません。審判という大会を支える裏方の仕事をすることで球技大会実行委員さんの当日また、当日までの頑張

りを身にshめて感じることができました。参加者と運営側の双方の経験を経て、双方の大変さ、楽しさ。また、みんなが楽しめる球技大会を作り上げてくださった実行委員さんに感謝の意を感じました。私にとってすごく勉強になった1日でした。

最後に球技大会を企画・運営してくださった実行委員の皆様、球技大会を最初から最後まで盛り上げてくださった参加者の皆様、陰でサポートしてくださった多くの皆様に心から感謝の意を申し上げます。本当にありがとうございます。

■三水会義援募金

平成24年8月末まで皆様から寄せられました義援金は累積一千二百万円になります。皆様の志に心より感謝申し上げます。

三水会会報やホームページでご報告のとおり、現在まで4団体に対して合計九百万円の支援を行いました。これからも私達の第二の故郷三陸町の復興に支援を続けてまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

“ 掲 示 板 ”

三水会創設30周年記念講演会と祝賀会のご案内

第 一 部：記念講演会（テーマ：海洋は生命のみなもと）

開催日時：平成24年11月3日（土）午後4時～午後6時（午後3時30分受付）

開催場所：東京池袋サンシャインシティ文化会館7階705会議室

講 演：井田齊氏（北里大学名誉教授）

畠山重篤氏（NPO法人 森は海の恋人理事長）

参 加 費：無料（三水会に申し込めば何方でも参加できます）

第 二 部：30周年記念祝賀会

開催日時：平成24年11月3日（土）午後7時～午後9時

開催場所：東京池袋サンシャイン水族館

内 容：水族館を貸切、食事を交え会員及び家族、学部職員、学部退職者、その他来賓達との親睦会

参 加 費：大人 5,000円 子供（小、中、高生）・在学生 3,000円

申込方法：TEL・FAX・メールで三水会まで申してください

申込締切：平成24年10月20日（土）



■ 朝日田先生教授就任記念パーティーのお知らせ

「水圏生態学研究室の朝日田先生が教授に就任しましたお祝いを下記にておこないます」

会 場：品川区西五反田8-4-13 TEL：03-3494-6473

HOTEL ゆうぽうと

日 時：10月14日（日曜日）AM11時45分受け付け開始 PM12時～15時まで

会 費：現役学生・・・6,000円 卒業生・・・8,000円（夫婦参加は15,000円）

一般（大学関係者含む）・・・10,000円

※卒業生の子息は小学生まで無料、中学生以上6,000円となります。

※申込方法：mugi643@yahoo.co.jp（「朝日田先生の教授就任を祝う会」事務局）

八井田 耕一（10期）090-8802-5401 越川 成二（12期）090-2339-4062

参加されます方は上記、メールまたはTELにて 名前・卒業期（わかる方で結構）を伝えてお申し込みをお願いします。

■ 三水会関西地区親睦会開催のお知らせ

開催日時：平成24（2012）年9月30日（日）14：00～17：00

場 所：大阪ガーデンパレス 3Fカメリア TEL 06-6396-6211

<http://www.hotelgp-osaka.com/>

新大阪よりシャトルバス有り 毎時05、20、35、50分発

乗場は、地下鉄御堂筋線2号出入口を出て、すぐ左です。

内 容：13：30～受付 14：00～14：50 井田先生 講演、高橋会長 挨拶ほか

14：50～17：00 懇親会

会 費：5,000円を予定

幹事・スタッフ：吉澤、西村（2期）、上田（5期）、河村（6期）、北吉（23期）ほか

申込方法：下記の方法により三水会事務局へご連絡ください。

フリーダイヤル：0120-873-135 メールアドレス：information@kitasato-sansuikai.jp

申込締切：平成24（2012）年9月25日（火）

締め切りは終了してありますが、「参加希望の方は事務局までご連絡を」



編集後記

東日本大震災から1年半、三陸地方の復興はようやく動き始めたところであり、まだまだこれからというところでしょう。今年に入ってから九州地方を中心に大雨による水害も多発しております。被災した方々に対しまして、この場を借りてお見舞い申し上げます。

ところで、相模原に移転した海洋生命科学部ではこの九月から新校舎での授業を開始します。大学の50周年、研究所の100周年事業も震災で延期されていた活動が再開されるようです。三水会も昨年予定していた30周年記念事業をパワーアップして開催することになりました。今年は再生の年として会員の皆様も新しいことに挑戦してみたいかがでしょうか。情報交換を兼ねてぜひ多くの方が30周年記念事業に参加されることを願っております。